

科目名	語学演習（ドイツ語Ⅰ） Language Seminar（GermanⅠ）			担当教員	田口 淳		
学年	3年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	13120031	単位区分	履修単位
学習目標	ドイツ語の基礎会話及び基礎文法を習得し、ドイツ語の簡単な文章を読み、書き、話すことができるレベル（独検４級合格程度）にまで到達することを目標とする。また、ドイツ語を通して、異文化への理解を深めながら、多角的な視野を養うことを目指す。						
進め方	１時間１項目を原則として授業を進めていく。その際、確認問題（配布プリント）やゲーム形式のグループ学習を通して文法の定着を図っていく。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	１．Das Alphabet、発音、簡単な会話（２） ２．Lektion 1（動詞の現在人称変化、語順）（４） ３．Lektion 2（冠詞と名詞）（４） ４．Lektion 3（冠詞類、指示代名詞）（４） [前期中間試験]（２）			・ドイツ語特有のアルファベットや発音のポイントが理解できる。 ・簡単な挨拶や会話、自己紹介ができる。 ・基本的な動詞・名詞、定冠詞類・不定冠詞類を用いた簡単な独文の読み・書きができる。 学習・教育目標：（D）			
	＊試験返却・解説（１） ５．Lektion 4（動詞の不規則変化、命令形）（２） ６．Lektion 5（人称代名詞、前置詞）（３） ７．Lektion 6（形容詞の格変化）（４） ８．Lektion 7（話法の助動詞、未来の助動詞）（４）			・命令形の作り方を理解し、簡単な独文の読み・書きができる。 ・前置詞の格支配が理解でき、簡単な独文の読み・書きができる。 ・形容詞の格変化の仕組みを理解して、簡単な独文の読み・書きができる。 ・助動詞を用いた文の構造を理解して、簡単な独文の読み・書きができる。 学習・教育目標：（D）			
	前期末試験						
	＊試験返却・解説（１） ９．Lektion 8（分離動詞、再帰代名詞）（３） １０．Lektion 9（動詞の３基本形、過去形、接続詞）（３） １１．Lektion 10（完了形）（３） １２．Lektion 11（関係代名詞）（４） [後期中間試験]（２）			・分離動詞を用いた文の構造が理解できる。 ・過去の表現を用いた平易な物語を和訳することができる。 ・副文を用いた文の構造を理解して、簡単な独文の読み・書きができる。 ・現在完了の文の構造を理解して、簡単な独文の読み・書きができる。 ・関係代名詞を用いた文の構造を理解して、簡単な独文の読み・書きができる。 学習・教育目標：（D）			
	＊試験返却・解説（１） １３．Lektion 12（受動態、zu 不定詞）（４） １４．Lektion 13（比較の表現）（３） １５．Lektion 14（接続法）（４） １６．１年間のまとめ（２）			・受動文の構造を理解して、簡単な独文の読み・書きができる。 ・zu 不定詞を用いた文が作れる。 ・形容詞・副詞を用いた比較表現ができる。 ・接続法の作り方を理解し、それを用いた簡単な独文の読み・書きができる。 学習・教育目標：（D）			
	後期末試験						
	試験返却・解説（１）						
評価方法	授業中の発表 10％、課題の提出状況 10％、定期試験 80％ 学習項目ごとの全体評価への重みは、１～４、５～８、９～１２、１３～１６を各 25％とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	語学演習（ドイツ語Ⅰ）（３年）→ 語学特講（ドイツ語Ⅱ）（４年）						
教材	Text：「Mein Deutsch Mein Wunsch：ハンサムドイツ」高橋・城間 著 朝日出版社						
備考	担当教員への連絡先：TEL：０８７－８６９－３８４２，E-mail：taguchi@t.kagawa-nct.ac.jp						